第14講 幕藩体制の崩壊
PART4 化政文化

Chapter 1 文学と芸術の発達

目標
化政文化の特色について知ろう。
錦絵の影響の大きさについて知ろう。

1 文学

19世紀前半の文化が〔1 〕**文化**。上方と並ぶ経済の中心地に成長した**江戸**の，幅広い階層の都市民が担う文化で，内容も多種多様である。

※江戸では美意識としての「粋」と行動原理としての「通」が重視される。

※当時の世相を反映して**享楽的・退廃的な傾向が強く，風刺や皮肉で現実の憂さを発散**。
幕藩体制の動揺という現実を直視し，批判的精神に満ちる。

①小説

A **合巻→**数冊の黄表紙を綴じ合わせたもの（**天保の改革で弾圧**）
『修紫田舎源氏』（**柳亭種彦**）など。

B 〔2 〕→恋愛を主題とした絵入り小説（**天保の改革で弾圧**）
『春色梅児誉美』（**為永春水**）など。

C （後期）**読本→**江戸を中心に勧善懲悪・因果応報を主題とした物語が流行
『〔3 〕』『椿説弓張月』（**曲亭〔滝沢〕馬琴**）

D 〔4 〕→滑稽・笑いを基調とする絵入り小説
『〔5 〕』（**十返舎一九**），
『浮世風呂』『浮世床』（〔6 〕）など。

②随筆

『〔7 〕』（**鈴木牧之**）
※**越後国**の農村から雪国の自然や生活を紹介し，江戸で出版され話題となった。

③俳諧・和歌

A 俳諧
『おらが春』の〔8 〕（信濃国と江戸を往来）など。

B　和歌

古今調の香川景樹ら桂園派，生活歌の禅僧〔[9]　　　　〕（越後国）など。

④歌舞伎の脚本

『**東海道四谷怪談**』（**鶴屋南北**），『**三人吉三廓初買**』（**河竹黙阿弥**，白浪物の名手）など。

2　美術

①浮世絵→江戸を中心に錦絵の風景画が流行

開国後，北斎・広重はモネ・ゴッホなど

フランス印象派のジャポニズム〔日本趣味〕に多大な影響を与えた。

A　〔[10]　　　　　　　　〕→『**富嶽三十六景**』など生涯をかけ多作

B　**歌川〔安藤〕広重**→『〔[11]　　　　　　　　　　〕』『名所江戸百景』など

C　歌川国芳→『朝比奈小人嶋遊』など幕末期にかけて世相や政治を批判

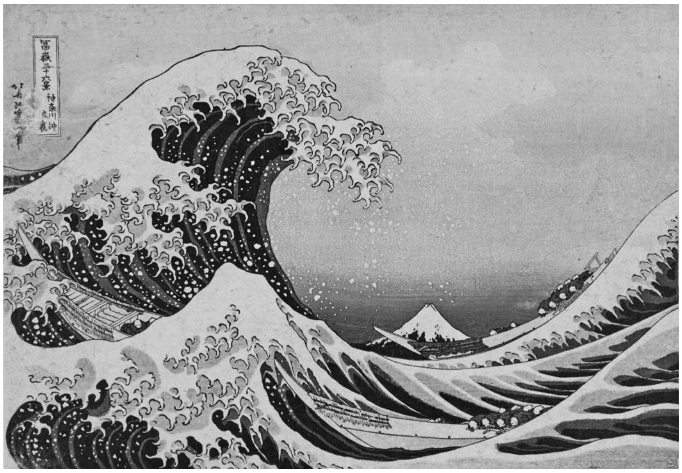
②伝統的な写生画→京都が中心

『柳鷺群禽図屛風』の**呉春〔松村月溪〕**が円山派から独立し**四条派**を創始。

③文人画

江戸の谷文晁とその弟子〔[12]　　　　　　　　〕（『**鷹見泉石像**』『一掃百態』），

田能村竹田（豊後国）など。また，江馬細香（美濃国）は女性文人として有名。



富嶽三十六景（神奈川沖浪裏）

鷹見泉石像

まとめ　化政文化は江戸中心で，各地・各階層が結ばれ多種多様化した。
北斎や広重の錦絵は，ポスト印象派の画家にまで影響を与えた。

Chapter 2　思想・信仰と生活

目標
幕府の洋学統制の傾向について知ろう。
各地の文化交流を支えた背景は何だろう？

1　学問と教育

シーボルト

①**洋学〔蘭学〕**

『寛政暦』（幕府の天文方高橋至時），『暦象新書』（**志筑忠雄**），
『大日本沿海輿地全図〔伊能図〕』（〔1　　　　　〕ら），
『舎密開宗』（宇田川榕庵）など。

1811年　天文方**高橋景保**の建議で**蛮書和解御用**を設置

1828年　**シーボルト事件**

※『日本』などの著書があるオランダ商館の
ドイツ人医師〔2　　　　　〕は国外追放，天文方の高橋景保は獄死。

1839年　蛮社の獄

※モリソン号事件（1837年）を契機とする幕政批判などを理由に，
尚歯会〔蛮学社中〕の蘭学者たちに弾圧を加えた。

※『**慎機論**』の**渡辺崋山**，『**戊戌夢物語**』の〔3　　　　　〕らを処罰。

②**国学**

〔4　　　　　〕は本居宣長の没後門人を自称し，**復古神道**を提唱。
これは篤胤の没後に全国に広まり，幕末の尊王攘夷運動に多大な影響を与えた。

③私塾

咸宜園（豊後国日田，**広瀬淡窓**），〔5　　　　　〕（**長崎，シーボルト**），
〔6　　　　　〕**〔適々斎塾〕**（**大坂，緒方洪庵**），
〔7　　　　　〕（長門国萩，**吉田松陰**の叔父）など。

④思想の発達

A　**経世論**

海保青陵（『稽古談』），**本多利明**（『西域物語』『経世秘策』），
佐藤信淵（『経済要録』『農政本論』『宇内混同秘策』）など。

B　尊王思想

高山彦九郎，蒲生君平（『山陵志』の著者），頼山陽（『日本外史』の著者）など。

※また，水戸藩では藤田幽谷とその子**藤田東湖**（『弘道館記述義』の著者），
会沢安〔正志斎〕（『新論』の著者）などの後期水戸学が隆盛。

C　条理学

三浦梅園が『玄語』で宇宙論・自然哲学を説く

D　幕末の思想家

佐久間象山（「東洋道徳」「西洋芸術」），吉田松陰，松尾多勢子ら。

2　生活と信仰

①三都・城下町の娯楽

芝居小屋，**寄席**，相撲，花見，花火，湯屋〔銭湯〕，髪結床，遊郭，瓦版〔よみうり〕など。

②農村・在郷町の娯楽

村芝居〔地芝居〕，人形芝居，猿廻し，獅子舞，万歳，瞽女や座頭の歌など。

③寺社参詣の流行

A　寺社の世俗化

縁日，開帳・出開帳，富突〔富くじ〕など。

B　旅の流行→『**菅江真澄遊覧記**』や各所の名所図会も出版

湯治，物見遊山，寺社参詣など。

C　**寺社参詣**の例

伊勢神宮（伊勢国，内宮・外宮への〔8　　　　　　　　〕），善光寺（信濃国），
金毘羅大権現〔金刀比羅宮〕（讃岐国），成田不動（下総国）など。

D　聖地・霊場への**巡礼**

四国八十八か所（弘法大師〔空海〕信仰），西国三十三か所（観音信仰）など。

④民衆宗教の発生→明治期には教派神道となる

文化期の**黒住教**（備前国，黒住宗忠），天保期の〔9　　　　　　　　〕（大和国，**中山みき**），
安政期の**金光教**（備中国，川手文治郎）など。

⑤民間行事

五節句，彼岸会，盂蘭盆会，日待・月待，**庚申講**・富士講など。

まとめ　幕府は，思想に関わらない実学的分野のみ洋学を認める傾向にあった。
商品貨幣経済と交通の発達が，各地の文化的交流の背景だった。

第 14 講　PART 4　確認問題

1　恋愛を主題とした絵入り小説はどれか。

① 滑稽本　② 人情本
③ 合巻　④ 読本

2　式亭三馬の著作はどれか。

① 『東海道四谷怪談』　② 『北越雪譜』
③ 『浮世風呂』　④ 『おらが春』

3　『南総里見八犬伝』を著したのはだれか。

① 曲亭〔滝沢〕馬琴　② 為永春水
③ 河竹黙阿弥　④ 十返舎一九

4　渡辺崋山の作品はどれか。

① 『東海道五十三次』　② 『鷹見泉石像』
③ 『富嶽三十六景』　④ 『柳鷺群禽図屛風』

5　蛮社の獄で処罰された高野長英の著作はどれか。

① 『慎機論』　② 『暦象新書』
③ 『舎密開宗』　④ 『戊戌夢物語』

6 復古神道を提唱した国学者はだれか。

① 高橋景保　② 本居宣長
③ 平田篤胤　④ 賀茂真淵

7 広瀬淡窓が開いた私塾はどれか。

① 適塾　② 鳴滝塾
③ 松下村塾　④ 咸宜園

8 『西域物語』を著した経世論者はだれか。

① 本多利明　② 会沢安〔正志斎〕
③ 佐藤信淵　④ 海保青陵

第14講　PART 4　確認問題 解答

1 解答：②　①の**滑稽本**は滑稽・笑いを基調とする絵入り小説，③の**合巻**は数冊の黄表紙を綴じ合わせたもの，④の**読本**は勧善懲悪・因果応報を主題とした物語。

2 解答：③　①の『東海道四谷怪談』は**鶴屋南北**が著した歌舞伎の脚本，②の『北越雪譜』は**鈴木牧之**が著した随筆，④の『おらが春』は**小林一茶**の俳諧俳文集。

3 解答：①　②の**為永春水**は人情本『春色梅児誉美』など，③の**河竹黙阿弥**は『三人吉三廓初買』など歌舞伎の脚本，④の**十返舎一九**は『東海道中膝栗毛』など滑稽本を著した。

4 解答：②　①の『東海道五十三次』は**歌川〔安藤〕広重**が描いた浮世絵，③の『富嶽三十六景』は**葛飾北斎**が描いた浮世絵，④の『柳鷺群禽図屛風』は**呉春〔松村月溪〕**が描いた写生画。

5 解答：④　①の『慎機論』は**渡辺崋山**，②の『暦象新書』は**志筑忠雄**，③の『舎密開宗』は宇田川榕庵の著作。

6 解答：③　①の**高橋景保**は天文方で，蛮書和解御用の設置を建議した。

7 解答：④　①の**適塾**は緒方洪庵，②の**鳴滝塾**はシーボルト，③の松下村塾は**吉田松陰**の叔父が開いた。

8 解答：①　②の**会沢安〔正志斎〕**は水戸藩の後期水戸学者で，『新論』を著した。③の**佐藤信淵**は『経済要録』『農政本論』など，④の**海保青陵**は『稽古談』を著した。